



壮年サッカー全国大会に

第6回全国スポーツ・レクリエーション祭の壮年サッカー大会が11月14日～16日の3日間にわたり千葉県で開かれ、町のサッカーチーム「八郷パルソマジュール」が県代表として出場しました。同チームは1年前に発足。町に住んでいる方とゆかりのある方25人（40歳以上）で構成されています。運動公園でトレーニングを積み、他チームとの練習試合を重ねながら同大会に臨みました。惜しくも勝つことはできませんでしたが、八郷チームのハッスルプレーに「さわやか賞」が贈られました。



自然に親しみ郷土愛育てる



小学六年生を対象とした少年ふるさと教室（町教育委員会主催）が十一月二十三日、県立吾国山洗心館で開かれした。同教室は自然とのふれあいや話し合いを通じて郷土愛をはぐくみ、社会的視野を広めるのが目的です。町内各地から二十八人の児童が参加。秋晴れの好天に恵まれ、色あざやかに紅葉した吾国山の自然を満喫しながら楽しいひとときを過ごしました。

自然がいつばいある町に

少年ふるさと教室は中央公民館を九時に出発。県立吾国山洗心館に着き、まず入所式を行いました。式後、洗心館周辺の豊かな自然を観察しながらのウォークラリー。一組四人ずつ七班に分かれ、コースに備えられているチェックポイントを注意しながら歩きます。ポイントには「林の下に草が少ないのは?」「石畳の石の名前は?」「階段下にある木の名前は?」など実物を見て答える質問があり、仲間どうし知恵を出しあって書き込んでいました。吾国山周辺は紅

葉が真っ盛り、赤、黄、だいたい色とりどりの木々が秋の日射しを受けて見事に輝いています。その中を時には歓声を上げ、時には頭をひねりながらコースを進みます。出発してから約二時間後、正午を過ぎたころ全員がゴール。定められた時間により近くゴールし、チェックポイントをより正確に答えることを競うウォークラリーは子どもたちを十分に満足させた様子でした。

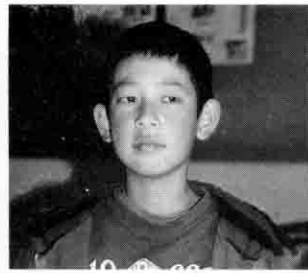
昼食は班ごとにヤキソバ、ヤサイサラダ、トン汁を作りました。その後からは町長との懇談会。話し合いは洗心館の会議室で一時間三十分に行われました。その中で町長は「みなさん、八郷町は将来、どんな町になればいいと思いますか」と質問。子どもたちもほとんどが「空気や水がきれいで自然がいつばいある町」と答え、恵まれた八郷の自然環境をいつまでも残したいという思いが強く感じられました。

また、子どもたちから町長に対しての質問がありましたので、内容を要約し次に紹介いたします。

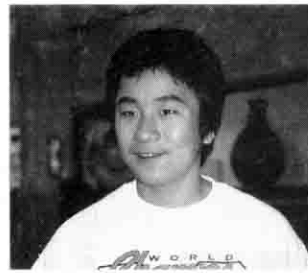




鈴木幸枝さん
(恋瀬小学校)



原田陽介さん
(小桜小学校)



富田 剛さん
(小幡小学校)



桜井盾夫町長

ゴミのリサイクル進めて

Q 桜井直美・恋瀬小 中学生に
なったら帰りが遅くなりますので、
外灯をもっとつけてください。

A 町長 八郷は三方を山に囲ま
れた風光明媚なところですが、
日暮れが早く学校からの帰り道も
不便をきたしていると思います。

外灯の設置は年間約六十基、東
電から寄贈の十基を合わせると七
十基近くになります。区長さん
を通しての申請ですが、予算にも限
度があり十分にお応えできないか
もしれません。なお、電気料など
の維持費はそれぞれの区で負担い
ただいています。

Q 鈴木幸枝・恋瀬小 町はゴミ
を集める時、ビンやカンを分けて
リサイクルしないのですか。

A 町長 町から出たゴミは、千
代田町にある新治地方広域事務組
合(八郷町、千代田町、出島村、
新治村)塵芥焼却場で処理されて
います。その施設が老朽化と合わ
せてふえ続けるゴミの処理に追
いつかなくなり、今度建て替えるこ
とになりました。新処理施設の総
事業費は七十二億円。ゴミ処理に
かかる費用はすべて関係する町村
で負担し、引いては町民のみなさ
んの税金で賄われています。
焼却場で処理されるビンやカン

は、最終的にはリサイクルされる
ことになりませんが、なんといつて
もゴミを出さないように心がける
ことが大切です。みなさんも努力
してください。特に生ゴミなどは
集積所へ出さないで自宅で処理す
るよう努めてほしいと思います。

Q 原田陽介・小桜小 運動公園
は現在、町に一つしかありません
が、もつと作る予定がありますか。

A 町長 一町七か村が合併して
八郷町になった訳ですから町の面
積は広大で、地域のみなさんが利
用しやすい運動公園にするために
は、もう何か所が必要かもしれま
せん。しかし、町ではいま新庁舎
を建設中であり財政的にも運動公

園をふやすことは無理だ
と思います。現在ある野
田の運動公園をさらに充
実させ、多くのみなさん
が利用しやすいように努
めていきたいと存じます。

Q 富田剛・小幡小 な
ぜ、川をコンクリート底
にするのですか。ゲンジ
ボタルがふえていたのに。

A 町長 河川改修の時
川を三面コンクリート張
りにすると、ゲンジボタ
ルなどが少なくなるのは
よく分かります。でも大
雨が降った時、流れをよくしてお
かないとせつかく改修した河川が
壊され、大きな被害をもたらしか
ねません。八郷は山間地のため蛇
行した小河川がいくつも流れてお



友だちと一緒に円卓を囲み楽しい野外での食事

新庁舎の床面積7千541㎡

十一月号の「行政懇談会」で、
庁舎建設概要に係る町執行部答
弁の中、面積などについて基本

設計の内容を掲載してしまいま
した。実施設計の内容は次のとお
りです。おわびして訂正します。

◎構造・規模

鉄筋コンクリート造り。一部
鉄骨造り。地下一階地上四階建

てですが、建築基準法上は五階建
てとなります。

◎建築面積

庁舎本体は三千二百三十六・三
六㎡。ほかに現業事務所、公用車
庫、自転車置場など四百七十四・
八五㎡があります。

◎延べ床面積

庁舎本体は七千五百四十一・〇

り、護岸工事をするにより宅
地や農地を守っています。
富田さんの自然を守り、生物と
共存しようとの思いはとても大切
であり忘れてはならない問題です。

二㎡。現業事務所、公用車庫、
自転車置場、浄化槽などは五百
六十一・一五㎡となります。

なお、庁舎建設工事は現在、
基礎部分の杭打ちなどを行って
おります。建築場所が中央公民
館の隣接地のため、公民館の出
入りなどご不便をおかけしてい
ます。平成六年十二月が完成予
定となっていますので、その間
出入りは公民館東側のみとな
ります。ご協力ください。

あいまつり



▲年1回の大名行列。柿岡商店街は
さながら江戸時代絵巻の様相です。
「下に一、下に一」と、一段高い
馬上から堂々の行進は柿岡城主(柿
岡北町の佐々木明さん)。

こととして四回目をむかえた八郷ふれあいまつりが十一月
二十日と二十一日の両日、盛大に行われました。ふれあい
歌の祭典、各種作品の展覧会や展示即売会、健康相談教室
や子ども向けキャラクターショーなど盛りだくさんの催し
があり、会場となった中央公民館はたくさんの人でにぎわ
いました。また、柿岡商店街でくり広げられた柿岡城まつ
りも、メインの大名行列などに趣向が凝らされ、八郷の秋
まつりにふさわしく、活気に満ちあふれていました。



▲農産物の自由販売はすごい
売れ行きです。

▼両手で持ちきれないほどのモチを拾う(柿岡城まつり)



▲ウスとキネを使って2俵のモチをつきました。



▲体力測定器により健康度チェック。

ウォッチング

第4回

八郷ふれ



▲ふれあい歌の祭典では
熱唱が続きました。



◀筑波大生も後継者の
イベントをお手伝い



◀展示内容をお年寄りにていねいに説明する
高校生。

▶つい目で追ってしまうお姫様の行列。



▲昔なつかしいどっぴん豆を作り、無料配布。



▲ふわふわ「ピーターパン」は子どもたちでいっぱい。

11月臨時議会

庁舎建設工事など可決

平成5年第4回町議会臨時会が11月8日開かれました。報告1件と議案2件が上程され、いずれも原案通り可決されました。

報告は専決処分した事件の承認についてです。これは柿岡中学校校舎火災における復旧工事等に伴い、平成5年度一般会計補正予算の歳入歳出それぞれ1,010万円を補正増し、予算総額87億8,865万4千円としたものです。

歳入は繰越金、歳出は損害を受けた教室等の改修工事費と資料室に保管していた消失した教材を購入する費用です。



庁舎建設工事の起工式で鍬入れを行う桜井町長 (11月24日)

議案の一つは平成5年度一般会計補正予算についてです。これは先の台風11号により被害を受けた災害復旧に要する経費と農林業同

和对策事業費の補正増をするものです。歳入歳出それぞれ3,257万1千円を増額し、予算総額88億2,122万5千円とし、地方債の補正増もしました。

歳入は、県支出金の災害復旧費県補助金が971万8千円、農林業費補助金(同和对策事業)が234万円、前年度繰越金が2,021万3千円、農林水産業債が30万円でそれぞれ補正増となりました。

した。

歳出は、農林業同和对策事業の農道工事事業費が270万円、国災による4か所の水路復旧工事費と、単町災の水路復旧工事及び農道復旧工事にする土地請負費などの農業用施設災害復旧費が2,727万1千円、林道路面の洗掘被害を受けた箇所を復旧する林業用施設災害復旧費が260万円それぞれ補正増となりました。

もう一つの議案は八郷町役場庁舎建設工事請負契約の締結についてです。

○工事名 八郷町役場庁舎建設工事

○契約の方法 指名競争入札

○契約金額 24億9,723万5千円

○契約の相手方 日本国土開発株式会社

○工事の内容 鉄筋コンクリート造り、地下1階地上4階建て(建築基準法上は5階建て)

なお、庁舎建設地は柿岡の中央公民館西隣、完成予定は平成6年12月となっています。

町長の日記帳から



十一月の主な動向はつぎのとおりです。

庁舎建設はじまる

三日(水)小幡、園部地区文化祭

四日(木)補正予算査定

八日(月)議会第四回臨時会

九日(火)郡町村議会議員研修会

十日(水)町職労者追悼式

十二日(金)芦穂小、園部保育所合同竣工式

十五日(月)園部地区七五三合同祝、知事と市町村リーダー懇談会

十六日(火)総合計画打ち合わせ

十八日(木)土木事業関係出県陳情

十九日(金)県消防職員駅伝大会

二十一日(日)健康家庭、むし歯のない子表彰式

二十二日(月)高齢者学級講師

二十三日(火)少年ふるさと教室

二十四日(水)庁舎建設起工式

二十五日(木)第三十二回新治郡社会福祉大会、農政講演会

二十六日(金)恋瀬川河川改修に伴う出県陳情

二十八日(日)第七回駅伝競走大会

二十九日(月)筑波林業地帯整備促進協議会総会

三十日(火)応急手当指導員認定証交付式(広域消防)

新庁舎建設の起工式が十一月二十四日行われ、いよいよ着工の運びとなりました。完成予定は平成六年十二月。建設地が中央公民館の隣接地なので工事中、皆さんにご迷惑をおかけすることになり恐縮に思っています。

現庁舎は昭和三十五年、町村合併に合わせて建設されたもので老朽化が著しく、その間行政機構も大きく教育委員会や登記課が分庁舎に移転したり、駐車場が狭かったりして大へんご不便をおかけしています。その中で新庁舎建設の声が高まり、庁舎建設特別委員会設置や基金の積み立てを行って着々と準備を進めてきました。新庁舎は町民のために仕事をする場であり、利用しやすいするために建設するものです。これからも皆さんに親しまれる役場、町民本位の行政を進めていきたいと存じますのでご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

新庁舎建設の起工式が十一月二十四日行われ、いよいよ着工の運びとなりました。完成予定は平成六年十二月。建設地が中央公民館の隣接地なので工事中、皆さんにご迷惑をおかけすることになり恐縮に思っています。

住民総参加の地域福祉を

郡社会福祉大会

第三十二回新治郡社会福祉大会
(郡社会福祉協議会主催、郡民生委員協議会、県土浦地方福祉事務所など後援)が十一月二十五日、町中央公民館で開かれました。集まったのは、民生委員、婦人会、社会福祉協議会役職員、身体障害者福祉会、百寿会など社会福祉団体の関係者約百五十人。

第一部の式典では桜井町長が歓迎のあいさつをし、その中で「地域社会における相互扶助の精神が



表彰状を受ける岡本林太郎さん

薄れ気味の現状で、社会福祉のあり方も、行政のみならず、住民参加による、地域ぐるみの福祉活動が求められている」とし、「今後とも、地域住民の総力を結集して、よりよき福祉社会実現のため邁進する覚悟である」と述べました。

また、日ごろ社会福祉に精力的に努力されている団体や個人の表彰があり、町からは大増の岡本林太郎さん(85)と小幡の鬼沢松枝さん(84)が表彰されました。岡本さんは昭和五十七年から毎年、

老人大学の卒業記念に手作りの杖を百本寄贈。鬼沢さんは昭和五十八年から毎年、手づくりのミニ薬玉を三百個作り、八十八歳以上のお年寄りに町からの赤い座布団と一緒に配布。それらが認められました。

第二部は茨城県精神保健センター長の額賀章好先生による「心の健康を考える」と題しての講演。ストレスと酒の飲み方な

どについて次のような話がありました。「週休二日制をむかえ、朝から酒を飲んでいる人が増えてきている。アルコール依存病とは酒に對して自由を失っている病氣。酒がないと落ち着かず、飲むことを押さえきれない。やがて飲まない」と「手が震える」「冷や汗」「幻覚」「妄想」などの症状が出るようになる。欧米人に比べて日本人の肝臓は強くないので十分に気を付けてほしい。

また、現在過労死が問題となっているが、死因の九九％が脳と心臓疾患、それらはストレスとの関係が非常に深い。世界的に見ると文明の栄えた地域は春夏秋冬がはっきりしており、人間にとってある程度のストレスは必要であると思われるが、過度の心身疲労は命を落としかねない。特に真正直な方はストレスを受けやすい。人間はストレスに對しての回復力を持っているのだから、解消するには完璧主義を捨てて辛くなったら悲鳴をあげることと社会の変化に柔軟に對應することが大切である」。

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

洋ランフェアー '94 華やかさを競う



本格的な冬を迎え、毎日寒い日が続きますが、「花と緑の楽園」フラワーパークでは、一月十二日から十六日までの五日間にわたり、冬の室内を彩る洋ランを中心とした「洋ランフェアー'94」を開催します。

「花の女王」と呼ばれるカトレアをはじめ、ファレノプシス(胡蝶蘭)、パフィオペディウムやシンビジウムなどを多数展示し、その華やかさを楽しんでいただきます。

また、期間中、花の売店では贈答用や観賞用として人気の高い、シンビジウムやデンドロ

ビウム、カトレアなどを多数とりそろえ格安にて販売いたしますので、ぜひ、この機会にお買い求めください。

また、最終日の十六日には、午後一時三十分から「洋ランの楽しみ方教室」を開催いたします。洋ランの手入れや管理方法などの講話と実技指導を行いますので、今後の洋ラン管理に役立ててください。

※十二月二十七日から一月三日までの年末年始は休みとさせていただきます。なお、開園時間は、午前九時から午後四時(入園は三時三十分まで)です。

八郷町の文化財

17

鹿の埴輪

国宝級の価値

県指定 昭和四十四年三月二十日
所在地 八郷町立中央公民館

鹿の埴輪は、柿岡市街地の西端「柿岡西町古墳」から発掘されました。すでに民家は建ち並び、墳形やその規模は不明ですが、人物・鹿・馬・琴・円筒などの埴輪が出土しました。

特に、雌鹿の埴輪は造形がすばらしく、鹿特有の斑点も浮き出ている見事なつくりで、考古学資料として茨城県文化財の指定を受けましたが、全国にも類がないことから、国宝級の価値があるものと高く評価されています。

鹿は古来から狩猟獣として、高い経済価値を有すると共に神聖視されてきました。古代ギリシャ神話をはじめ世界各国に、鹿の霊力と功德に関する福話の伝承が数多く残されています。

日本でも、鹿島神宮・春日大社・巖島神社などにおいては、古い昔から御祭使とし神聖視されています。柿岡西町古墳の鹿の埴輪も、身近な動物というより、信仰的に特別な目的があったものと推察されます。

聖徳太子浮足の像

半紙一枚身体が浮上

町指定 昭和四十七年十一月七日
所在地 八郷町柿岡北町 如来寺

聖徳太子像は、

立像六十三センチメートル。作者と制作年代等は不明ですが、そうとうの技量を持つ仏師の作が惚ばれます。

ふつくつとした顔、人を引き



寄せ、何かを語りかけそうなきざしと唇の彫り、木彫りであるがすばらしい光沢を持ち、一見して金銅仏の作と思わせます。

寺伝によると、建保三年（一一二一五）に親鸞聖人の二十四輩第四番の御直弟となった「乗然房領海」が親鸞聖人から形見として聖徳太子像を賜り「帰命山無量寿院如来寺」と号しました。

その後、明応七年（一四九八）に当山第十世了然のとき、柿岡の里に移されたと伝えられています。太子浮足の像とは、親鸞聖人が常陸の国を発足のおり、別れを惜しんだ太子像が、空を飛び門前まで見送りをしたと伝えられ、また、太子像の足が、台上から半紙一枚が通るほどの空間を保ち、身体が浮上しているなどのことから「聖徳太子浮足の像」と呼ばれているものです。

●最近気になる病気

「中性脂肪」の高値

豊後荘病院

内科部長 林田康明医師



中性脂肪は、コレステロールと共に血液の中の脂質の二本柱でありながら、コレステロールが動脈硬化の危険因子として、早くから病的意義が確立されているにもかかわらず、中性脂肪は一人ひとりの値の変動が大きいためなかなか病的意義が定まりませんでした。しかし、最近になり中性脂肪も単独で虚血性心臓病の危険因子となることが明らかになり、特に糖尿病、高血圧を合併する例は注意が必要で

す。血清中性脂肪の正常上限値は、一五〇mg/dlとされていますが、異常度に応じた対策を次に述べてみましょう。一五〇〜三〇〇mg/dlの範囲の方は生活の注意、食事療法が中心になります。肥満傾向にある人は減量作戦を優先します。食事のカロリー制限、とくに脂肪量、砂糖分、アルコール摂取量に対する注意が必要です。特に果物に含まれる加糖は、中性脂肪の上昇作用が強い

ようです。食事は、一食抜くなどせずに三食を適量にとるほうが望ましく、間食や夜食は控えるべきです。運動は水泳、ジョギング、ジャズダンスなどの有酸素運動が有効ですが、高齢者や合併症のある方は一日六〜七千歩くらい歩くように努力してみましょう。中性脂肪が三〇〇〜七〇〇mg/dlの範囲にある人は、生活や食事の注意に加えて薬物療法が必要となりますので、医師に相談のうえ適切な薬剤を服用し、定期的な受診が必要となります。七〇〇mg/dl以上あるような人は、特別な疾患の関与がある場合もあり、食事脂肪の制限、アルコール制限を強化した上でさらに薬物療法を必要とします。一〇〇〇mg/dl以上になると急性膵炎を合併する危険が大きくなります。検診などで中性脂肪の高値を指摘されたら、高血圧や心臓病の方はもちろん、他に異常のない方も、まず医者に相談し適切な指導を早めを受けるようにしましょう。

わたしの手料理

じゃがいも
クリーム煮



食生活改善推進員 大槻春恵（太田）

材料（4人分）

じゃがいも 4個（400g） 粒とうもろこし（缶詰） ½カップ バター 20g 牛乳 1½カップ
塩、こしょう少々

作り方

- ①じゃがいもは皮をむき、1.5cmの角切りにします。
- ②なべに入れ、牛乳、バターを加え、15分から20分中火で煮ます。吹きこぼれないように煮立ったら弱火にします。
- ③塩、こしょうで味をととのえ、粒とうもろこしとグリーンピースを加え、さっと煮てできあがりです。

好みでハムのみじん切りやかにの水煮のほぐしたものを加えたり、粉チーズを仕上げにふってもよいでしょう。

わが家のアイドル



山崎

飯村 亮 介ちゃん

父 靖主さん 母 和子さん
平成1年10月31日生まれ（長男）

♥家族からの一言

いつもおじいちゃんといっしょに畑へいくのが大好きで、手のからない子です。

これからも元気に育ってほしいと思います。

みどり生き生き

八郷の自然

⑮



桃実がつまって、もみ。樅の木は幹も巨大になる樹種であり、種を宿した樅はつくり（果実）も巨大で、横に張った枝の上部に、小鳥がとまり、並びあっているように見える。まさしく桃実の木である。八郷では嫁おこしも呼ばれた。姑がかまどでこの枯葉を炊くとバリバリと音を立てて、嫁の目覚ましになるというのだ。

山の中腹あたりに自生し、三十メートルを

樅の木と小さな育林家

越す高さになる。筑波山には特に多かったが、八郷の峰々にもよく見られた木である。建築材としては、適材ではないが、張板としては、やにが出なかったの、重宝がられた。

一昔以前、張板は嫁入り道具に欠くことのできない物であった。ワンプロ

で目がかすむ現代女性と火を炊く音で起こされた昔の嫁とを比較することはできない。しかし、兄の着物を張板で糊づけし、弟妹の着物を裁縫した昔の女性には、愛情まで縫い込んで、家族の衣類を調整したのであった。

秋、ヒヨドリが鳴くころになると樅の実には充実する。山中のリスはめざと

く樅はつくりを見つけ、実をむさぼる。樅の木の下にいくと、その食べ殻が敷いたように落ちている。リスの大好物なのだ。その辺をよくみると、樅の幼

生が芽生えていることがわかる。杉やひのきと異なり、樅を植林する人は少ない。実をむさぼるリスも、苗木の分は

必ず残すのだ。山間の休耕地など、しばらく放置すると近くに樅の木などないのに生えてくる。川に沿った土地には沢くるみが生えてくる。リスや野ネズミが実を運んでくるのだ。この小さな育林家は、その土地にどんな樹種が適しているかもよく知っているようだ

樅林にはもみだけが生える。筑波山

に多いもみだけはオレンジ色で、愛好家にとって、絶好のきのこである。きのこ

研究家によれば、ある種のきのこは母樹と共生し、養分を分けあっているという。やせ地でも巨幹になる樅を育林しているのも、かわいいもみだけかも知れないのだ。森はメルヘンの世界以上に夢を隠している。

町文化財保護審議委員 軽部豊

みんなの広場

習字コーナー

評 日本教育書道連盟審査員 岩波芳水



スギナ



東成井 吉沢隆志 (8)



MIKE & りえ



山崎祥子

私も ひとこと

小

学一年生の長男が生活科で、秋の木の実を使っておもちゃやゲームを作るといので、どんぐりや松ぼっくりを見つけない山を散策しました。

ついでに、銀色に波うっているススキをたくさん取って、フクロウを作っていました。子供が面白い目とくちばしをつけると、かわいいフクロウさんのできあがり。学生時代これを作って一個五十円で売っていたことを思い出しました。

十

月の連休を利用して、新潟県の奥志賀をドライブしてきました。

山の本々の鮮やかなる紅葉を満喫してきました。天気がよくて太陽のキラキラ輝きも手伝って、それはそれはとても美しくきれいでした。

四季折々に変化する景色、日本っていいな。自然って素晴らしい……と、いつも感じます。そんな四季の中で私は秋が一番好きです。もちろん、きの

おねが

二年 まつうらあい

どつしりと堂々と書いて、たいへんよい作品です。

小幡小二年 松浦あい

芸術

東成井小五年 藤崎まり

伸びやかに美しく書いています。ますます頑張ってください。

東成井小五年 藤崎まり

この味覚も含めて……です。

毎

月、広報やさとを楽しみに待っています。とくに「八郷の自然」を読むのが好きです。小さい時を思い出して心の中がポツとあたたかくなるからです。きつと書いている方が心のあたたかい方なのでしょうね。これからもよろしく願います。

宇治会 入江ひろみ(32)

八郷の自然を楽しみにしていただいてありがとうございます。ところで残念ながら「八郷の自然」は、今月号で少しお休みをいただくことになりました。来月号からは「八郷の歳時記」と題して、町に昔から伝わる祭りや行事などを片野の綿引東さんに紹介して

いただきます。八郷の自然同様よろしく願います。 広報係

広

報やさとの中で、同和問題が載っていますね。私も前から興味を持っていましたが、何も知りませんでしたので、とても勉強になりました。これからも楽しみにしております。

山崎 佐藤嘉容子(23)

同和問題の解決には、まず、皆さんに知っていただく必要があります。今後も、多くの皆さんに理解していただけるよう、できる限り掲載していきたいと思いますが、紙面にも限りがありますので、このたびの連載は三回で打ち切りました。ご了承ください。また、機会がありましたら掲載したいと思えます。 広報係

フラワーパークの入場券
とふれあいの森乗り物券が
ペアで当たるよ

広報クイズ 69

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①壮年サッカー大会が行われたのはどこ？

- (A)埼玉県 (B)栃木県
(C)千葉県

②少年ふるさと教室の参加人数は
何人？

- (A)28人 (B)32人 (C)37人

③八郷駅伝競走大会一般男子の部
で新記録で優勝したチームは？

- (A)芦穂ランナース
(B)瓦会ランナース
(C)園部ランナース

〔応募の方法〕

☆ハガキに広報クイズ69と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名に、ペ
アでフラワーパークの入場券とふ
れあいの森の乗り物券をプラスし
てプレゼントします。

☆締切日 平成5年1月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
2009-3 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙2月号

〔広報クイズ67の当選者の発表〕

正解は1-C、2-A、3-Bでした。
応募30通、正解28通の中から次の
10名が当選しました。

数藤千代子(柿岡) 川井由布子
(柿岡) 白田慶一郎(下林) 小原
とく(片野) 木村幸子(柿岡) 高
橋良子(小幡) 萩原志づ(月岡)
山中和(片野) 菊地さと子(柿岡)
吉沢美代子(東成井)〔敬称略〕



小幡 櫻井敏行



うさぎ



ラム

●やさと文芸

短 歌

吉田次郎選

おだやかな秋の日差しに赤とんぼ寄りつはなれつ空にたわむる
東成井 小島 せん
幾世経て土に堆もれし埴輪かな鹿の可愛しきよき形して

東成井 大和田 利

七五三振袖姿の孫の上に幸せあれかしと柏手をうつ

大塚 宇田とよ

俳 句

綿引鼓峰選

この峠越せばふるさと花芒

宇治会 鈴木孤舟

鳥居より参道長し木の実降る

柿岡 岩田 忠

夕月に嫋々として寺の鐘

山崎 安達利 男

俚 謡

大木 嶺月選

老いて寂しや抜け毛も細く櫛にまつわる薄茶色

真家 川崎 夫久

家族三夫婦笑いがたえぬ曾孫ら二人の芸達者

瓦会 路川 長老子

稲の実りが半減しても農に励みの肝つ玉

上曾 足立 喜一郎



無病息災の願いをこめてしめ飾
り作りに精を出す。
今年もあとわずか。根小屋地内

やさ
と
点
描

「まち」の「話題」で「き」と

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線 一一三)

陛下にことしも富有柿献上

八郷町柿振興協議会(上田森之助会長)では十一月十七日、赤坂御所、東宮御所、宮内庁の三か所に町名産の富有柿を献上しました。ことし献上したのは、真家の長谷川新五郎さん、長谷川輝好さん、山

崎の久保田守さん、宮ヶ崎の大槻肇さんら四人が丹精こめて生産したものです。献上前日、役場に持ち寄られた柿は、生産者など関係者によりていねいに選別され、木の箱に詰められました。

地区ごと七五三合同祝い

七五三合同祝い(地区公民館主催)が十一月十五日、地区公民館単位八地区で開かれました。お祝いに招かれたのは来年度小学校へ入学予定の三百三十七人(町全体)。町長や公民館長などからお祝

いの言葉が述べられたあと、町から千歳飴と記念品が贈られました。瓦会地区ではいままでは最も少ない女子九人と男子三人の計十一人(写真)が出席、元氣よく祝福を受けていました。

樹木や野鳥の話聴く

小学校五・六年生を対象にした「ウォッチング八郷」が十一月十三日、下青柳の県フラワーパークで行われました。

町の自然の素晴らしさを知ってもらい、ふるさと愛や今後の生活環境を考えるきっかけになれば、と八郷ライオンズクラブ(鈴木光雄会長)が主催しました。



(C)

(C)



山田圭以(月岡・20歳)さん

趣味は読書と映画。映画は月に三〜四本くらい見ます。理想の男性はいつしよにいてあきない人。



ありがとうございます

○長崎雲仙並賢岳火砕流罹災者義援金(社会福祉協議会受付)

●いばらきコープ八郷委員会

四八、〇五三円

●川又 鈴木英子

九八三円

○鹿児島集中豪雨災害たすけあい義援金(社会福祉協議会受付)

●いばらきコープ八郷委員会

一七、五四円



芦穂小・園部保育所の合同竣工式

芦穂小学校校舎と園部保育所改築工事の合同竣工式が十一月十二日、芦穂小学校で行われました。出席したのは地元区長やPTA、父母の会関係者ら約百五十人。式では町長、議会議長あいさつのあと、施工業者と設計監理業者に感謝状と記念品が贈られました。

芦穂小学校は平成四年度の事業として実施、構造は鉄筋コンクリート三階建て、延床面積二千六百二十三平方メートルです。総

事業費は六億七千四百一十五万円、多様な学習形態に因應するためワークスペースやコンピュータ室を設けています。園部保育所は旧園部小学校跡地の高台に移転し、敷地も約三千三百平方メートルに確保しました。構造は木造平屋建て瓦葺で、延床面積六百三十三平方メートルです。総事業費が一億三千五百七十七万円、同保育所は町内八か所ある保育所の中で、はじめて暖冷房を完備しました。

小幡の尾科さん国体で8位入賞

小幡の尾科恵子さん（38）が、第四十回国民体育大会（東四国国体）秋季大会の弓道団体の部に県代表として出場し、見事八位に入賞しました。尾科さんは指圧の仕事の傍ら、県弓道連盟石岡支部に所属し、週二回の練習に励んでいました。

ことしは県の大きな弓道大会に何度も上位の成績を収め、ほかの二人とともに県選抜強化選手に選ばれました。さらに、予選の関東ブロック大会では第一位となり、国体の出場権を獲得しました。同石岡支部からの出場は尾科さんが初めて。

魅力ある農業めざし講演会

国民経済研究所理事長の叶芳和氏による「これからの農業の展望」と題しての農政講演会（町主催、八郷町農協、農業委員会、ライオンズクラブ協賛）が十一月二十五日、中央公民館で行われ、農業関係者ら約二百人が参加しました。叶氏は「米の市場開放は避けられない。むしろ市場開放を引き金にして日本農業を強くする絶好の機会。輸入差益を基盤整備に回して生産コストを下げ、食味のよい米を作れば外国産米に対抗できる。将来、国が米を作ってください、という時期が必ずやってくる」など独特の農政論を展開、参加者の興味をそそっていました。



■訂正 十一月号の「叙勲・功勞者紹介」で原田孟さんの任期が「昭和四十五年まで五期二十年間」となっていました。昭和五十四年まで五期二十年間の誤りでした。おわびして訂正いたします。



好評の「八郷の自然」が今月号で休載することになりました。執筆された町文化財保護審議会委員の軽部豊さんは、植物をはじめ自然界について熟知されており、さらに長い間の豊かな経験に裏打ちされた文章には説得力があり、多くのみなさんに感銘を与えました。前半は失われゆく自然を題材に昔なつかしい八郷の文化とともに紹介し、年輩者には郷愁を誘い、若者には歴史を伝えました。

後半は生き生きとした自然を取り上げ、古今東西自然の中に生活する人間の尊さを著わしました。記事にまつわる取材、特に写真撮る時は筆者も同行し、道すがら軽部さんの教えをいただきました。「この木はなんという名前ですか」と質問され、何度も答えるに窮しました。恥しき限りです。軽部さん、また会う日まで。（岡）

八郷駅伝

園部ランナース新記録で優勝

第七回八郷駅伝競走大会は十一月二十八日、男女三種目に二十一チームが参加して行われました。一般男子の部では園部ランナースが大会新記録で優勝し、中学生男子の部では柿岡中Aが四年連続六回目の優勝を、中学生女子の部では園部中が初優勝をそれぞれ飾りました。



トップでテープを切る園部ランナースのアンカー松平さん。日ごろの練習した成果が実り、8区間8選手いずれも安定した走りて優勝。沿道では応援団が盛んに声援を送りました。

第七回八郷駅伝競走大会（町教育委員会、体育協会主催、町ライオンズクラブなど後援）は、柿岡の中央公民館を発着点とする8区間30・2キロ（一般男子、中学生男子）と8区間17・2キロ（中学生女子）のコースで行われました。雲ひとつない好天に恵まれた大会は、午前十時に中学生女子の部が、十時三十分には一般男子と中学生男子の部がそれぞれスタート。昼前からはやや風が強くなりましたが、まずまずのコンディションの中、選手たちはタスキを肩に健脚を競いました。

一般男子の部は園部ランナースが大会記録を2分16秒短縮する1時間47分22秒の新記録で優勝しました。二位が山崎走友会、三位が園部走友会となり園部地区のチームが上位を独占しました。

中学生男子の部は柿岡中Aが安定した走りをキープし、通算六度目の優勝を達成しました。二位には一時トップを奪った園部中Aが

が入り、三位はよく健闘した南中。中学生女子の部は、終始トップを維持した園部中Aが初優勝し、二位は後半追い上げた柿岡中Aが、三位には有明中が入りました。

◇一般男子の部（30・2キロ）

①園部ランナース（山里、木村、永井、伊藤政、伊藤勇、山田、久保田、松平）1時間47分22秒②山崎走友会2時間7分10秒③園部走友会2時間8分34秒④壮年サッカ12時間10分7秒⑤役場走友会B2時間12分28秒

◇中学生男子の部（30・2キロ）

①柿岡中A（稲見、額賀、田村、開田、市村、大野、久保田、磯山）1時間47分27秒②園部中A1時間48分51秒③南中1時間52分35秒④園部中B1時間57分44秒⑤有明中1時間58分16秒

◇中学生女子の部（17・2キロ）

①園部中A（松平、石渡、石井、伊藤允、飯田、菱沼、伊藤慶中島）1時間7分36秒②柿岡中A1時間8分13秒③有明中1時間8分51秒④南中1時間9分59秒⑤柿岡中B1時間11分49秒

〔区間新記録〕

一般男子 △一区（3・1キロ）川崎正幸（八郷ランナース）10分42秒▽七区（3・4キロ）久保田啓二（園部ランナース）11分58秒 中学生女子 △八区（3・1キロ）宇田由香利（有明中）11分5秒



中学生男子の部で優勝し金メダルを受ける柿岡中A